

掃除の教育的効果

著名な企業経営者には、掃除を重んじた人物が多くいます。例えば、松下幸之助氏。松下氏は、掃除が社員の修養に役立つという信念をもち、その励行を説きました。イエローハット創業者の鍵山秀三郎氏は、「凡事徹底」と「率先垂範」という経営哲学の下、自ら掃除する姿を社員に見せました。

私は、道德教育の一環として清掃活動を重視することで、主に次の三つの精神を養うことができると考えています。

第一に、自主・自律の精神。

自主とは、他からの指示を待たずに、なすべきことを自ら進んで行うこと。自律とは、自分の内にきまりを作り、それに従って行動することです。

教師や級友から指示されることなく、自ら判断して掃除を行う児童・生徒は、日々の清掃活動を通して自主・自律の精神を養っています。

第二は、勤労・奉仕の精神。

勤労とは、仕事に励むこと。それを支えるのが勤勉です。勤勉とは、自己の精神を集中させようと努力することであり、仕事や勉強に没頭することです。

「無言清掃日」と称し、一切話をせずに掃除を行う日を設けて、成果を上げている学校があります。

第三は、愛校の精神。

日々の掃除は、学校への愛着や誇りはもとより、よりよい校風の樹立と発展に努めようとする意欲と態度を育みます。

児童・生徒の清掃活動、見つめ直してみませんか。



伝統と革新

ノーベル生理学・医学賞受賞者・北里大学特別栄誉教授・女子美術大学名誉理事長 大村 智
伝統は 革新の連続によって 築かれる

出典：「人をつくる言葉」（大村 智著 毎日新聞出版社）

※ 長く生き残り続けることを伝統と呼ぶなら、生き残るために必要なのが革新である、と氏は述べています。